

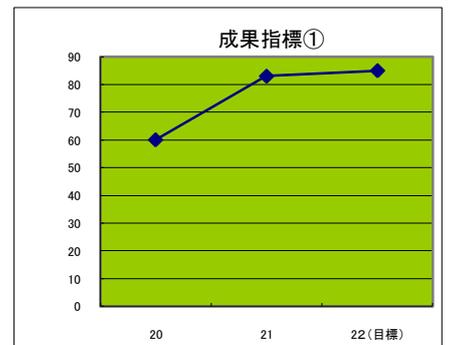
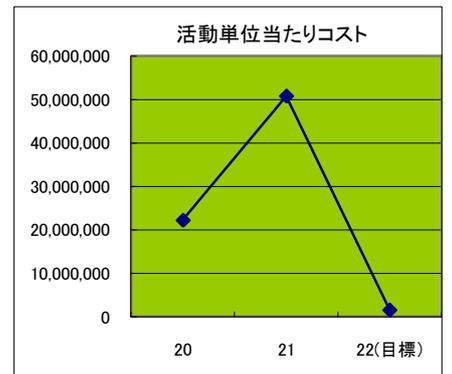
平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号

教学教05

事務事業名		古市小学校屋内運動場改築事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち		款	10	教育費
	施策(節)	2	学校教育		項	2	小学校費
	施策の方向	(2)	教育環境の整備・充実		目	1	学校管理費
関連する計画等				事業	79	古市小学校屋内運動場改築事業	
対象(誰を・何を)				作成部署			
児童・保護者・教職員・地域住民				教育委員会事務局学校教育室教育総務課			
意図(どういった状態にしたいのか)				連絡先			
講堂を屋内運動場に改築し、教育環境の充実と災害時の避難場所としての安全確保を図る。				072 - 958 - 1111 内線 4131			
事業の内容				根拠法令等			
既存の古市小学校屋内運動場は、地域の防災避難所としての機能はもちろん、教育活動の充実を図る必要がある。しかしながら、構造上「講堂」のため体育実技にも支障をきたして、老朽化も進んでいるため改築(新築)する。 概要:(新)屋内運動場(工事期間:平成20年度~21年度) RC造2F 延床面積930㎡ 平成21年度 屋内運動場改築工事・監理、土地借上料、改築工事に伴う物件補償・初度調弁 平成22年度 講堂撤去に伴う改築棟工事・監理、講堂・渡り廊下解体実施設計、土地借上料、学校用地の土地調査 平成23年度 講堂・渡り廊下解体工事、渡り廊下新設工事・監理				学校教育法、小学校設置基準、地震防災対策特別措置法他			
事業開始時期				終了年度			
<input type="checkbox"/> 昭和 18年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成				平成 23年度			
事業開始時からの状況変化				市民や議会の要望			
				講堂を屋内運動場として、建替えるよう要望あり。			
実施手法				委託先			
<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()				<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他			
委託内容				工事設計・工事監理			

区分		20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込み)
事業費【1】	(千円)	194,811	95,208	4,459
人件費【2】	(千円)	5,250	6,375	1,875
職員数	正規職員	0.70 人	0.85 人	0.25 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	200,061	101,583	6,334
財源内訳	国費	(千円) 49,621	42,960	
	府費	(千円)		
	市債	(千円) 100,000	23,000	
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円) 50,440	35,623	6,334
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	20年度	21年度	22年度(目標)
① 調査、設計、工事、監理等件数	件	9	2	4
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		22,229,000 円	50,791,500 円	1,583,500 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		1,672 円	854 円	53 円



成果指標	指標名	単位	指標設定の考え方	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	①	事業進捗率 (式) 各年度毎終了事業経費÷事業全体経費×100	%	改築事業全体を100とした場合の工程の進捗割合	60	83
②	(式)			目標	達成率(%)	
				実績	100.0%	
③	(式)			目標	達成率(%)	
				実績		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○	○		○							有	義務教育における最低基準の実技ができない状態を解消するとともに、地域住民の避難場所を確保するために事業を行う。

視点	分析のためのチェック点	評価			分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし	
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	義務教育における最低基準の実技ができない講堂を屋内運動場に改築するものであり、児童、保護者をはじめ教職員からの要望も高い。また、地域の避難所になる屋内運動場を改築することは、地域住民の安全・安心を確保する緊急性の高い事業である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経年劣化した建物を新築し、安全な構造の建物にすることにより、ランニングコストの削減につながる。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教育環境の充実や、児童、地域住民の安全確保を図る上で有効な事業である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教職員、保護者、地域住民の声を聞き、調整を行い、市民ニーズを最大限まで反映している。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基本設計、実施設計を行うにあたり、当初の計画よりやや遅れたが、概ね工期内に完成する見通しである。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	教職員、保護者、地域住民の声を聞き、限られた敷地を有効活用して事業を進めていく。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
		実施設計に沿って建築し、計画工期どおりに事業を行う。

行革本部評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	評価理由・意見